

### 『Radixの会第2回総会』 開催準備開始!

2002年の第1回総会から早や2年。全国にいらっしやるRadixの会員さんが一堂に会する唯一の機会、第2回Radixの会総会の季節がやってまいりました。現役員体制での活動の総括と新たな2年間へ向けてのご承認を頂戴すべく下記開催へ向けて準備中です。

とき：2004年2月20日(金)午後  
ところ：東京マリオットホテル錦糸町東武

東京都墨田区錦糸1-2-2  
※総会は厳かに、終了後は楽しく。賑々しく懇親会も予定しています。

### ■地鶏の開発、飼料自給の取り組み

夏の記事です。8月13日付毎日新聞茨城南版で、共栄ファームの中村孝治さん(Radixの会畜産幹事)が紹介されました。「自前で栽培した有機農産物を飼料にオーガニック(有機)地鶏を育てる」という中村さんの目標が、これまでのご苦労と共に伝えられています。中村さんはこの取り組みを、減反による耕作放棄田での多収米の有機栽培により進めており、自前の田んぼのほか地元の農協の協力も得ながら、試験栽培は今年で2年目となります。※詳しくは本文11頁参照。(竹内)

### ■鎌倉山納豆の野呂食品さん 月刊食の科学10月号で紹介されました

“食生活を元気にする発酵・醸造特集”の中でタイトルは「自分たちが本当にうまいと思った納豆しか売らない」。昭和30年にはじめた納豆屋が大手メーカーの登場で危機に直面。それをバネに「良い材料しか使わない」「うまいものしか作らない」と納豆作りを前面に押し出したやり方に変更。現在2代目社長の野呂剛弘氏も

売込みに歩きまわり「多少値が張っても良いものを求める人は迷わず買ってくれることがわかりはげみになりました」「自分が作りたいものはどんなものなのか、どんな層の人たちが興味を持つのかをじっくり見据えないといけない」とも。

### ■らでいっしゅぼーや中部元気市に出店しました

10月19日(日)、らでいっしゅぼーや中部センター主催による“元気市”が中部センターで開催され、北海道に引き続き、中部ブロック(長野、静岡、愛知、岐阜、三重、富山、福井)の生産者・メーカーさんの顔写真展示と場所当てクイズを行ないました。

当日は天候に恵まれ、約200家族が来場、Radixの会のブースは入り口受付後すぐ近くにあったため、ほとんどの方が足を運んで写真に目をやったり、クイズに挑戦してくださったりと盛況でした。「地元のらでいっしゅ生産者・メーカーさんを身近に感じてもらう」ことを目標に出店したブース。どの方もたいへん喜んでお土産を持ち帰っておられました。ご協力くださったみなさんに心より御礼申し上げます。北海道・中部と出店した手ごたえを活かして、残る神奈川の元気市でもより地域性や親し



今回の有志のプレゼントは、サンオーネストさんからの「人參アイス」、中村醸造場さんからの「まるゆき信州味噌」、藤枝いちごの会・岸裕司さんからの「たべるお茶(岸さんはお茶会議のお茶も栽培されています)」

みを感じていただけるようなブースにして参りたいと思います。(島田)

### ■食の学校

#### ‘04年新春特別企画セミナー

- 日時：1月13日(火)13:30~16:30
- 会場：奥本製粉東京支店3階
- テーマ：「農」あつての「能」  
有機・無農薬野菜の“いのち”の輝きに打たれ、農業こそ人の命を育む貴い仕事と、18歳で家出。農業を志す……
- 講師：大倉正之助さん  
大倉流15世宗家故大倉長十郎の長男として生まれる。能楽囃子大倉流大鼓奏者。重要無形文化財総合認定保持者。
- 参加費：¥5,000(会員価格)  
講演会後、新年会参加費¥3,000  
お申込みはRadixの会島田まで

## Radix Milestone

・・・活動短報・・・

### 2003年10月

- 5・6 食品部会水産原料ネットワーク関連  
隠岐島視察(島根)
- 10 Radix検討委員会(東京)
- 14 農産部会 研有会栄養分析実験圃場調査  
(埼玉)
- 15 農産部会 長岡野菜の調査・種屋訪問  
(新潟)
- 16 農産部会 新潟市白山市場視察
- 16 食の学校定例セミナー参加(東京)
- 17 食品部会製造管理技術講習会実施  
(札幌)
- 19 らでいっしゅ中部センター元気市参加  
(名古屋)
- 21 BMW技術全国交流会参加(山梨)
- 23 第18回Radixの会役員会実施  
(首都圏センター)
- 24 食品部会水産原料ネットワーク会議  
開催(東京)
- 25 らでいっしゅ15周年企画・  
幕内秀夫さん講演会参加(東京)

### 後記

子どものとき、ある有名人の方が「将来的には、スーツケース1つで、いつでも旅立ってだけの荷物で暮らしたい」とTVで言ったのを聞いて、子供心に「わあ、カッコいいな」と思った。実際には現実ばなれしている話かもしれない。でも本当に必要なものだけ残したなら、荷物は減らせるものだといつも思う(火事で燃えてしまったと思えばいいのかも)。でも、それを実行するには、なかなか勇気が必要。たくさん物たちをもっていると楽しい反面、荷物に煩わされる。整理しないと部屋もキープできない。物では本当の幸せは得られないのかも……。人の頭の中もこれと同じじゃないかな、と思う。たくさん正しい知識を持つことは大切で、記憶力の悪い私にとってそれはうらやましいことでもある。一方、知識で一杯になって、直感や真実を見通す目は失いたくないとも思う。(事務局 やまかわ)

## Radix News Letter

28号2003年11月28日発行  
らでいっしゅぼーや環境保全型生産者団体  
Radixの会

〒175-0081東京都板橋区新河岸1-15-9らでいっしゅぼーや内  
TEL 03-5399-4631 FAX 03-5399-4634  
E-MAIL office@radix-jp.org

Radixの会についてのお問い合わせは事務局までお願いいたします。

次号は12月下旬発行の予定です

この会報は大豆油インキを使用しています。